



11日は揺れましたね。スマホからは地震を知らせる音声流れ、テレビではニュースが放送されていました。みなさんは、どこで、何をしていましたか？また、とっさに、どんな行動をとったでしょうか…。

学校では5月に、地震→津波を想定した避難訓練を行いました。訓練では、写真のように離れた高台まで逃げましたよね。生徒も職員も真剣に取り組んでいました。そして、11日の地震では、

幸い、避難場所まで逃げることなく過ごしましたが、今回のように実際の地震が起こった場合に、的確に判断して行動できるためにも、訓練を重ねることは大事だなあと感じました。



ました。

☆学校保健委員会

スクールカウンセラーの松尾治子先生が「思春期の子どもと関るためのひと工夫」という内容で話をしてくださいました。事前に保護者の皆様からは“子育てに関するアンケート”を封筒で提出していただき、封をしたまま松尾先生にお渡ししましたが、目を通された松尾先生は、そのアンケートに対する回答も話の中に盛り込んでくださったとのことでしたので、皆様にとって、より身近な内容になっていたのではないかと思います。

出会いのアウチやエンプティ・チェアー～子どもからのメッセージ～など、動きのある活動も取り入れて、あっという間の時間でした。

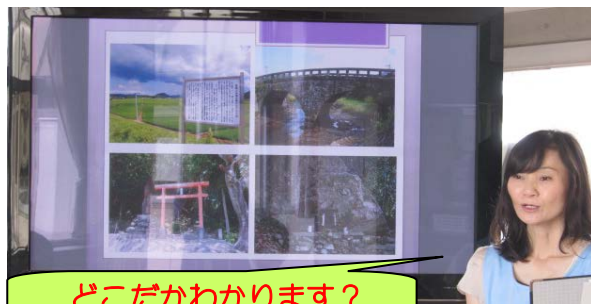
おわりのことばとして、生活保体部長の森下直子さんが、「一歩さがってみることも忘れずに」「子どもの心に寄り添って」等、話の内容をまとめて感謝を伝えてくださいました。

御参加くださり有難うございました。



☆食の指導

栄養教諭の久保田晴美先生が、1年生に地域の食材と郷土料理という内容で指導をしてくださいました。2年生と3年生も1年生の時に、久保田先生から御指導を受けたのですが、とびうおの飛ぶ距離や薩摩汁にまつわる鶏の話、きびなごやかのかんのほか、江之口橋や袈裟姫餅など身近な高江の風景や伝説、食べ物の話もあり、自分たちが暮らす地域について改めて学びました。また、他の地域のキンカンが酸っぱくてなかなか皮まで食べられないけど、給食で出る地元のきんかんは生で食べられて、高値で取引されたりもするそうですが、実は残食がすごく多くて残念ですという話でした。でも、Kさんが「あまくて、おいしい」と答え、久保田先生もニコリでした。最後には、もうすぐある調理実習で気をつけることとして、「手をしっかり洗って、マスクなど身支度をしっかりして、おいしい料理をつくってください」とお言葉をいただきました。



<健康>

7月3日(月)～7月20日(木)の間、体調不良等により1人が欠席をしました。中には連続した日数欠席をした生徒もいます。また、学校での健康観察の際に、腹痛、かぜ、目や足の指、鼻、肘などの症状を訴える生徒がいました。早退、遅刻もありました。

<生徒の声>

♡「だんご持ってきました」「〇〇先生の机に枝豆を置いてもいいですか？」



家庭科室の方から、「あ～おいしい」の声が…だんごを作った学年と収穫・調理の学年が家庭科室で別々に授業中です。おかげで、だんごに、枝豆、とうもろこしを職員もいただきました。職員室の方からも「おいしい！」の声がいっぱいしていました。



♡「さつませんだいしょくいくのひって19日ですか？」

そうです！この声は正解です。“毎月19日の食育の日に合わせて、県の郷土料理や地場産物を取り入れた、『さつませんだい食育の日』を実施しています(ひとくちメモより抜粋)”。そして、7月は、18日にさつませんだい食育の日の献立「きびなごのカリカリフライ」が出ました。久保田先生も一緒に給食をしてくださり、それぞれの目の前には給食に関する問題が貼ってありました。「こんげつさつませんだいまいごはんはなんかいたべられる？」には、職員から何やらクレームが…問題は平仮名だけで書かれていたので、句読点もないと読みにくいことも再確認しました。

